

## ⑦地域の推奨するシンボルツリーについて

### (1) シンボルツリーとは

・庭の中心となる樹木。その庭の印象を決める重要な役目を持つので、樹形や葉の色、花などが美しいものや好みの木が一般的に選ばれています。

### (2) 当地区における推奨内容

・地域に生息する樹種、区の花、管理のし易さを評価の基準とし、地域らしさを印象づけるためシンボルツリーを以下の6種類に選定しました。

ヨコハマヒザクラ、ハナミズキ、イロハモミジ、サルスベリ、ヤマボウシ、キンモクセイ

樹種	ヨコハマヒザクラ	ハナミズキ	イロハモミジ	サルスベリ	ヤマボウシ	キンモクセイ
科	バラ科	ミズキ科	ムクロジ科	ミソハギ科	ミズキ科	モクセイ科
常緑・落葉	落葉	落葉	落葉	落葉樹	落葉	常緑樹
高・低	高木 (5~10m)	高木 (5~10m)	高木 (1~6m)	高木 (6~7m)	高木 (3~5m)	高木 (5~10m)
写真						
花期・実	3月~4月	4~5月	紅葉	7~9月	5~6月	9~10月
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花は赤みが強く大輪、下向きに咲きます。</li> <li>・染井吉野と同じように、葉の出る前に花が咲きます。</li> <li>・開花期が早咲き・中間咲き・遅咲きの3タイプがあります。(花の形態は同じ)</li> <li>・早咲きは3月20日ごろから咲きはじめる、遅咲きは4月10日ごろから咲きはじめます。</li> <li>・小学校で入学式のころに満開になるものを植えたい時には、中間咲きのものを植えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小高木。樹形はやや整形。秋に紅葉する。</li> <li>・開花は葉とともに、または葉に先立つ。多少日陰が適する。生長はやや遅い。</li> <li>・枝は横張り型に水平に出るので割合日本人向きの樹形となる。</li> <li>・庭園や公園では普通高さ4~5m、幹回り30~40cm位のものが多く。</li> <li>・花色は、紅、淡紅、白色がある。</li> <li>・白色花のものは実生で多く生ずるが、紅色花は接ぎ木によって増殖するので、やや高価。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水はけの良い、肥沃な土壌を好む。美しい紅葉を楽しむなら日なたに植える。日当たりを好むが、2~3時間の日光でもよい。</li> <li>・剪定時期は5月中旬~7月ごろもしくは、10月下旬~12月・1~5月は剪定を控える。</li> <li>・病害虫はほとんどつかない。気候によりテッポウ虫に注意。風通しが悪いとうどん粉病も出やすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高木。花は7~9月に円錐花房を先に付け、紅色の他に白、紫紅などがある。隠樹。萌芽力があり、ふい回切り込みに耐える。生長は案外速い。樹形は不整形。幹は斜幹。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹形が自然に整うので、剪定はあまり必要ない。</li> <li>・植え替えと同時期又は5月下旬~6月下旬。適期以外に剪定すると、樹液が出て木が弱りやすい。</li> <li>・日当たり、水はけの良い肥沃な場所を好む。紅花種は日当たりが悪いと花の着色が悪くなる。鉢植えでも育つ。</li> <li>・夏に水を欲しがるので、植え付け3年目までは夏は水をたっぷり与える。</li> <li>・病害虫はほとんどつかない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹回り1.5~2.0m。</li> <li>・花は橙黄色。生長はやや遅い。</li> <li>・芳香は強い。</li> <li>・樹冠は整形で釣鐘形などが多い。</li> </ul>